



Cisco IP Phone 8800 Series for Third-Party Call Control ユーザ ガイ ド

初版：2016年01月29日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)



目次

電話機 1

Cisco IP Phone 8800 シリーズ 1

電話機のセットアップ 2

 ハンドセット レストの調整 2

 電話機の設置角度の調整 3

 ネットワークへの接続 3

 ネットワーク設定のリセット 3

 ケーブルロックによる電話機の固定 4

[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページ 4

 短縮ダイヤル番号 5

ボタンとハードウェア 7

 ナビゲーション 8

 ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン 9

 電話スクリーンの機能 10

 電話スクリーンのクリーニング 10

 電話のコールと回線の違いについて 10

 USB ポート 11

 モバイル デバイスの充電 11

 Bluetooth と電話機 12

省電力 13

 電話機の電源の投入 13

追加のヘルプと情報 13

 アクセシビリティ機能 13

 トラブルシューティング 14

 電話機に関する情報の取得 14

 接続が失われた場合 14

 シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定 15

Calls 17

コールの発信 17

コールの発信 17

スピーカーフォンを使用したコールの発信 18

ヘッドセットを使用したコールの発信 18

リダイヤルする 18

スピードダイヤル 19

電話スクリーンからの短縮ダイヤルコードの割り当て 19

短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信 19

国際番号のダイヤル 20

安全なコール 20

コールへの応答 20

コールへの応答 20

コール ウェイティングへの応答 20

コールの拒否 21

サイレントをオンにする 21

同僚の電話機への応答（コール ピックアップ） 22

グループ内のコールへの応答（ピックアップ） 22

音声のミュート 22

コールの保留 22

コールを保留にする 23

長時間にわたって保留されているコールへの応答 23

アクティブ コールと保留コールの切り替え 23

コールパーク 23

コールパークを使用したコールの保留 24

コールパークを使用した保留中コールの取得 24

コールの転送 24

コールの転送 25

別の担当者へのコール転送 25

転送を行う前の会話 25

電話会議とミーティング 26

コールへの別のユーザの追加 26

複数の回線	26
最も古いコールから先に応答	27
電話機ですべてのコールを表示	27
回線の共有	27
共有回線のコールに参加する	27
モバイルデバイスとデスクの電話機	28
Intelligent Proximity を使用した通話	28
モバイルデバイスとデスクの電話機のペアリング	28
接続されたモバイルデバイスの切り替え	29
モバイルデバイスの削除	29
ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示	29
携帯電話の Intelligent Proximity	30
モバイルコール着信の処理	30
モバイルコールの発信	30
デスクの電話機とモバイルデバイスの間でのコールの移動	30
モバイルデバイスの音量の調整	31
デスクの電話機でのモバイル連絡先の表示	31
デスクの電話機へのモバイルデバイスの連絡先の保存	31
モバイルデバイス連絡先リストでの連絡先の削除	32
デスクの電話機でのモバイル通話履歴の表示	32
タブレットの Intelligent Proximity	32
タブレットからデスクの電話機への音声の移動	33
デスクの電話機からタブレットへの音声の移動	33
連絡先 (Contacts)	35
社内ディレクトリ	35
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	35
BroadSoft ディレクトリ	36
BroadSoft ディレクトリ内での連絡先の検索 (単純検索)	36
BroadSoft ディレクトリ内での連絡先の検索 (高度な検索)	36
BroadSoft ディレクトリでの連絡先タイプの編集	37
BroadSoft ディレクトリ名の編集	37
BroadSoft ディレクトリのサーバ名の編集	38

BroadSoft ディレクトリのユーザ ID の編集	38
BroadSoft ディレクトリのパスワードの編集	38
LDAP ディレクトリ	39
LDAP ディレクトリ内での連絡先の検索	39
パーソナルディレクトリ	39
パーソナルディレクトリへの新しい連絡先の追加	39
パーソナルディレクトリ内の連絡先の検索	40
パーソナルディレクトリ内の連絡先への発信	40
パーソナルディレクトリ内の連絡先の編集	40
パーソナルディレクトリからの連絡先の削除	41
通話履歴	43
通話履歴リスト	43
通話履歴の表示	43
最近の着信コールに対する折り返し発信	44
通話履歴リストのクリア	44
通話レコードの削除	44
[ボイスメール (Voicemail)]	47
ボイスメールアカウント	47
新着メッセージインジケータ	47
ボイスメールへのアクセス	48
音声ボイスメールへのアクセス	48
アプリケーション	49
使用できるアプリケーション	49
アクティブアプリケーションの表示	49
アクティブアプリケーションへの切り替え	50
アクティブアプリケーションの終了	50
設定	51
呼出音の変更	52
特定の状況でのコール転送	52
すべての回線でサイレントをオンにする	53
特定の回線に対するサイレントをオンにする	53
匿名コールのブロック	54

発信者 ID 表示のブロック	54
コールの保護	54
すべての回線でのコール転送の有効化	55
ボイスメールのセットアップ	56
時刻形式の変更	56
日付形式の変更	56
スクリーンセーバーモードの変更	57
壁紙の変更	57
スクリーンの明るさの調整	58
バックライト継続時間の調整	58
フォントサイズの変更	59
電話機の名前の変更	59
ヘッドセットフィードバックの調整	59
アクセサリ	61
サポートされるアクセサリ	61
電話機に関連付けられたアクセサリの表示	62
ヘッドセット	62
標準ヘッドセット	62
標準ヘッドセットの接続	62
ワイドバンド標準ヘッドセットの設定	63
USB ヘッドセット	63
USB ヘッドセットの接続	64
Bluetooth ヘッドセット	64
Bluetooth をオンまたはオフにする	65
Bluetooth ヘッドセットの追加	65
Bluetooth ヘッドセットの切断	66
Bluetooth ヘッドセットの削除	66
製品の安全性とセキュリティ	67
安全性とパフォーマンスに関する情報	67
停電	67
外部デバイス	67
Bluetooth 無線ヘッドセットのパフォーマンス	68

電話機への電力供給方法	68
ネットワーク輻轉時の電話の動作	68
FCC 準拠宣言	69
FCC Part 15.21 に関する宣言	69
FCC RF 被曝に関する宣言	69
FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言	69
シスコ製品のセキュリティの概要	69
重要なオンライン情報	70



第 1 章

電話機

- [Cisco IP Phone 8800 シリーズ, 1 ページ](#)
- [電話機のセットアップ, 2 ページ](#)
- [\[構成ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, 4 ページ](#)
- [ボタンとハードウェア, 7 ページ](#)
- [省電力, 13 ページ](#)
- [追加のヘルプと情報, 13 ページ](#)

Cisco IP Phone 8800 シリーズ

Cisco IP Phone 8811、8841、8851、および 8861 は、使いやすく高度にセキュアな音声通信を可能にします。



表 1 : Cisco IP Phone 8800 シリーズの主な特徴

機能	8811	8841	8851	8861
画面	グレイスケール	カラー	カラー	カラー

機能	8811	8841	8851	8861
USB ポート	[0]	[0]	1	2
Bluetooth	[いいえ (No)]	[いいえ (No)]	○	○
Cisco Intelligent Proximity	[いいえ (No)]	[いいえ (No)]	○	○

電話機を使用するには、電話機をネットワークに接続して、コール制御システムへの接続を設定する必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をセットアップする方法によっては、すべての機能を電話機で使用できるとは限りません。

関連トピック

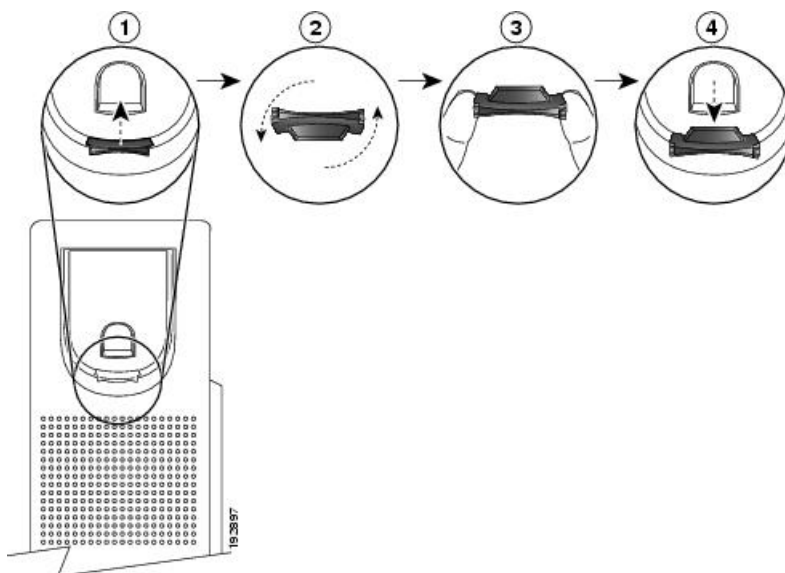
[モバイルデバイスとデスクの電話機のペアリング](#), (28 ページ)

電話機のセットアップ

通常、電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。お手元の電話機のセットアップと接続が完了していない場合は、管理者に問い合わせてください。

ハンドセットレストの調整

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットレストを調整する必要があります。



手順

-
- ステップ1 受け台からハンドセットを外し、ハンドセットレストからプラスチック タブを引き出します。
 - ステップ2 タブを 180 度回します。
 - ステップ3 角のノッチが手前になるように、2 本指でタブを持ちます。
 - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
 - ステップ5 ハンドセットをハンドセットレストに戻します。
-

電話機の設置角度の調整

電話機の角度を変えることで画面のグレアを抑えることができます。フットスタンドタブは柔軟な材質で作られています。

手順

-
- ステップ1 一方の手で受け台の受話器を押さえます。
 - ステップ2 もう一方の手でフットスタンドを動かして角度を変更します。
 - ステップ3 (任意) キー拡張モジュールのフットスタンドを調節して、電話機とキー拡張モジュールを安定させます。
-

ネットワークへの接続


電話機は電話ネットワークに接続する必要があります。

- 有線接続：電話機はイーサネット ケーブルを使用してネットワークに接続されます。

ネットワーク設定のリセット

電話機をオフィスで使用していた場合は、Expressway に接続する前にネットワーク設定をリセットしておく必要があります。

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [管理者設定 (Admin Settings)] を選択します。
- ステップ3 [工場出荷時の状態へのリセット (Factory Reset)] を選択します。
電話機がリセットされます。

ケーブルロックによる電話機の固定

最大 20 mm 幅のラップトップケーブルロックで電話機を固定することができます。

手順

- ステップ1 ケーブルロックのループの端を取り、電話機の固定場所となる物の周りに巻き付けます。
- ステップ2 ロックをケーブルのループの端まで通します。
- ステップ3 ケーブルロックのロックを解除します。
- ステップ4 ロック ボタンを押したままにして、ロックの歯の位置を合わせます。
- ステップ5 ケーブルロックを電話機のロック スロットに挿入し、ロック ボタンを放します。
- ステップ6 ケーブルロックをロックします。

[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページ

コンピュータからアクセス可能な [構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。このページの URL、ユーザ ID およびパスワードは管理者から取得します。

[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線設定には、コール転送、ビジュアルおよびオーディオ メッセージ インジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。

また、Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールが電話機に接続されている場合は、拡張モジュール ボタンで短縮ダイヤルその他の電話サービスを設定することもできます。

[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで設定できるいくつかの機能を次の表に示します。

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを使用すると、より複雑なコール転送機能 (回線がビジー状態の場合の動作など) をセットアップできます。
追加の電話機	デスクの電話機と同じ電話番号を使ってコールを発信/受信できる追加の電話機を指定します。また、特定の番号からのコールがこの追加の電話機に送信されるのを制限または許可するために、連絡先のブロックや選択を定義することもできます。また、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • シングルナンバー リーチ: デスクの電話機に着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。

関連トピック

- モバイル コネクトを使用した通話
- スピードダイヤル, (19 ページ)
- コールの転送, (24 ページ)

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字を入力します。短縮ダイヤル番号をセットアップする場合は、短縮ダイヤル番号にコールの発信に必要なすべての数字を含める必要があります。たとえば、外線と通話するために最初に 9 をダイヤルする必要がある場合は、9 に続けて相手の番号を入力します。

他のダイヤルする数字を番号に追加することもできます。追加の数字の例には、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、および請求コードが含まれます。

ダイヤル文字列に含めることができる文字は次のとおりです。

- 0 ~ 9
- ポンド (#)
- アスタリスク (*)

- カンマ (,) : これは一時停止文字であり、2 秒間遅延した後でダイヤルを続けます。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金コードの間には 1 つのカンマが必要です。
- 承認コードや追加の数字を含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤル ラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、番号を手動で少なくとも 1 回はダイヤルして、その番号が正しいことを確認してください。



(注) 短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加の数字は、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って通話先に接続した後で[リダイヤル (Redial)]を押すと、必要な承認コード、課金コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な特定の内線の電話用に短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の例のような要件を満たす必要があります。






- 外線の 9 をダイヤルする必要がある。
- 通話先の番号は 5556543 である。
- 承認コード 1234 を入力する必要がある。
- 課金コード 9876 を入力する必要がある。
- 4 秒ほど待機する。
- 電話がつながった後、内線 56789# をダイヤルする必要がある。











このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は 95556543,1234,9876,,56789# となります。

ボタンとハードウェア

図 1 : Cisco IP Phone 8800 のボタンおよびハードウェア



1	ハンドセット、および ライトストリップ付き ハンドセット	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイス メッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能 ボタンと回線ボタン	 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。 詳細については、 ソフトキー 、 回線ボタン 、 機能ボタン 、 (9 ページ) を参照してください。
3	ソフトキー ボタン	 機能およびサービスにアクセスできます。 詳細については、 ソフトキー 、 回線ボタン 、 機能ボタン 、 (9 ページ) を参照してください。
4	[戻る (Back)]、ナビ ゲーション クラスタ、 および [リリース (Release)]	戻る  : 前の画面またはメニューに戻ります。 ナビゲーション クラスタ  ナビゲーション リングと選択ボタン : メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりすることができます。 [リリース (Release)]  : 接続されているコールまたはセッションを終了します。

5	[保留/再開 (Hold/Resume)]、[会議 (Conference)]、および [転送 (Transfer)]	保留/再開  : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。 会議  : 電話会議を作成します。 [転送 (Transfer)]  : コールを転送します。
[6]	[スピーカフォン (Speakerphone)]、[ミュート (Mute)]、および [ヘッドセット (Headset)]	スピーカフォン  : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 ミュート  : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 ヘッドセット  : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
7	[連絡先 (Contacts)]、[アプリケーション (Applications)]、および [メッセージ (Messages)]	[連絡先 (Contacts)]  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。 [アプリケーション (Applications)]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。 [メッセージ (Messages)]  : ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします。
8	[音量 (Volume)] ボタン :	 ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量 (オフフック) および呼出音の音量 (オンフック) を調節します。

ナビゲーション

ナビゲーション クラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールします。ナビゲーション クラスタの内側の選択ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。







メニューの各項目にはインデックス番号があります。キーパッドでインデックス番号を入力することにより、メニュー項目を選択できます。

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機上の機能との対話は複数の方法で行うことができます。

- 画面下部に配置されたソフトキーを使用すれば、電話機に機能を付加することができます。ソフトキーは、その時点で何を実行しているかによって異なります。[...] ソフトキーは、他にも使用可能なソフトキーがあることを意味します。
- 画面の両側に配置された機能ボタンと回線ボタンは、電話機能と電話回線へのアクセスを可能にします。
 - 機能ボタン：回線上のコールを表示したり、短縮ダイヤルなどの機能にアクセスしたりするために使用します。
 - 回線ボタン：コールに応答したり、保留中のコールを再開したりするために使用します。アクティブコールに使用されていない場合は、不在着信表示などの電話機能を開始するために使用されます。

機能ボタンと回線ボタンのランプは、次のステータスを示します。

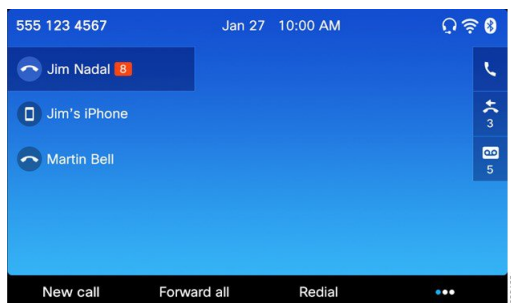
-  緑：回線がアイドル状態です。
-  赤、点灯：回線がアクティブ状態または使用中です。
-  赤、点滅：回線が保留中、または着信コールがあります。
-  オレンジ、点灯：回線が未登録です（使用できません）。

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

電話スクリーンの機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。

図 2: Cisco IP Phone 8800 の画面



スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時のほかに、さまざまなアイコンが表示されます。アイコンは機能がアクティブな場合にのみ表示されます。

電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。

スクリーン下部にはソフトキーラベルの行があります。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキーボタンのアクションを示しています。

電話スクリーンのクリーニング



注意

液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

手順

スクリーンは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電話のコールと回線の違いについて

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている「回線」および「コール」という用語には、かなり独特な意味合いがあります。両者の違いをここで説明します。

- **回線**：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。電話機に割り当てられた回線の数は、電話スクリーンの右側で確認できます。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。

- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は1本の回線につき2つの接続コールをサポートしますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2本の回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

USB ポート

Cisco IP Phone 8851 および 8861 限定

電話機には1つ以上のUSBポートが搭載されていることがあります。各USBポートには、最大で5台のUSBデバイスを接続できます。ポートに接続されたそれぞれのデバイス（キー拡張モジュールを含む）が、デバイスの最大数に含まれます。

たとえば、ご使用の電話機は側面ポートで5台のUSBデバイス、背面ポートでさらに5台の標準USBデバイスをサポートできます。多くのサードパーティUSB製品は、USBデバイスを複数含んでおり、したがって、複数デバイスとしてカウントされます。



- (注) USBハブを使用している場合、アクティブコール中に電話機からUSBケーブルを抜くと、電話機が再起動することがあります。

関連トピック

[Cisco IP Phone 8800 シリーズ, \(1 ページ\)](#)

モバイル デバイスの充電

デバイスがUSB接続可能な場合、電話機のUSBポートを使用してモバイルデバイスを充電できます。次のポートでUSB充電が可能です。

- 側面ポート：標準的なデバイス充電が可能です。
- 背面ポート（Cisco IP Phone 8861 および 8865 のみ）：標準的なデバイス充電および高速充電が可能です。

モバイルデバイスが電力節約モードである場合、電話機は充電を続けますが、Power Save Plus モードの場合は充電を停止します。

電話機を使用してモバイルデバイスを充電する際には、次の状況になります。

- 充電が始まるまでに、わずかな遅延が発生することがあります。

- 場合によっては、充電中アイコンがデバイスに表示されないこともあります。たとえば、デバイスが完全に充電されるとアイコンが表示されない場合があります。
- 電話機に複数の Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールが取り付けられている場合は、背面 USB ポートでデバイスの高速充電を行うことができません。

タブレットを取り外してすぐに USB ヘッドセットを電話機に差し込むと、電話機が USB ヘッドセットを認識するまで 3 秒間かかります。

関連トピック

[省電力](#), (13 ページ)

Bluetooth と電話機

電話機が Bluetooth に対応している場合、Bluetooth ヘッドセットを使用して、携帯電話やタブレットを Bluetooth 経由で電話機に接続できます。

Bluetooth 接続は電話機から 1～2 メートル (3～6 フィート) の範囲内で最も良く機能しますが、20 メートル (66 フィート) 離れていても機能する場合があります。接続されているデバイスと電話機との間に障害物 (壁、ドア、窓など)、大きな金属物、または他の電子機器がある場合には、Bluetooth 接続の品質が低下することがあります。

モバイルデバイスまたはヘッドセットを Bluetooth で電話機に接続するには、最初にデバイスと電話機をペアリングします。最大で 50 台のモバイルデバイスおよび Bluetooth ヘッドセットを電話機とペアリングできます。ヘッドセットまたはモバイルデバイスがペアリングされた後、ヘッドセットまたはモバイルデバイスがオンになると、電話機はそれに接続します。

電話機で Bluetooth ヘッドセットやモバイルデバイスを使用するときには、次の点に注意してください。

- 電話機は、電話機に最後に接続された Bluetooth ヘッドセットまたはモバイル デバイスをデフォルト デバイスとして使用します。
- 1 台のモバイルデバイス (携帯電話機またはタブレット) と 1 つの Bluetooth ヘッドセットを同時に接続できます。
- 電話機は、ペアリングされたモバイルデバイスのうち一度に 1 台だけと接続できます。携帯電話が接続された状態でタブレットをオンにすると、タブレットが電話機に接続され、携帯電話は切断されます。
- Bluetooth ヘッドセットとモバイル デバイスが電話機に接続されている場合、Bluetooth ヘッドセットを使用してデスクの電話機のコールにモバイルデバイスから応答することはできません。

関連トピック

[Bluetooth ヘッドセット](#), (64 ページ)

[モバイル デバイスとデスクの電話機のペアリング](#), (28 ページ)

[Cisco IP Phone 8800 シリーズ](#), (1 ページ)

省電力

管理者は、電話機を使用していないときに電話スクリーンで消費される電力量を減らすことができます。管理者が設定できる省エネモードのレベルを次に示します。

- 省電力：電話機が一定時間にわたって非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。

電話機の電源の投入

エネルギー節約のために電話機の電源をオフにすると、電話スクリーンがブランクになります。

手順

任意のキーを押して、電話機の電源を入れます。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

シスコ Web サイト (<http://www.cisco.com>) には、電話機およびコール制御システムについての詳細情報が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザ ガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-licensing-information-listing.html>

アクセシビリティ機能

Cisco IP Phone は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、アクセシビリティ機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-technical-reference-list.html> を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、次のシスコ Web サイトにも記載されています。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

トラブルシューティング

コール品質の問題や、コールが予期せず切断される、機能が突然正常に動作しなくなるなどの問題が発生する場合があります。これらの問題は、次の状態に関連している可能性があります。


- 電話機がコール制御システムと通信できない
- コール制御システムの通信上の問題、または内部的な問題
- 電話機の内部的な問題

問題が発生する場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

電話機に関する情報の取得

管理者から、電話機に関する情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2** [電話の情報 (Phone information)] を選択します。
 - ステップ 3** [詳細の表示 (Show detail)] を押すと、アクティブなロード情報が表示されます。
 - ステップ 4** [アプリケーション (Applications)] 画面に戻るには、[終了 (Exit)] を押します。
-

接続が失われた場合

さまざまな理由により、電話機とコール制御システムとの接続が失われることがあります。接続が失われた場合、電話スクリーンにアラートメッセージが表示されます。

アクティブ コール中に接続が失われた場合、そのコールは継続します。ただし、通常の電話機能の中にはコール制御システムからの情報を必要とするものがあるため、すべての機能にアクセスできるわけではありません。ソフトキーに機能が表示されなくなったり、ボタンを押してもアクションが実行されなかったりします。

電話機がコール制御システムに再接続すると、通常の電話機能が再び利用可能になります。

シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.comの<http://www.cisco.com/go/hwwarranty>で提供しています。



第 2 章

Calls

- [コールの発信, 17 ページ](#)
- [コールへの応答, 20 ページ](#)
- [音声のミュート, 22 ページ](#)
- [コールの保留, 22 ページ](#)
- [コールの転送, 24 ページ](#)
- [コールの転送, 25 ページ](#)
- [電話会議とミーティング, 26 ページ](#)
- [複数の回線, 26 ページ](#)
- [モバイル デバイスとデスクの電話機, 28 ページ](#)

コールの発信

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。ただし、コールの発信がより簡単になっています。


コールの発信

手順

番号を入力してハンドセットを持ち上げます。

スピーカーフォンを使用したコールの発信

手順


-
- ステップ 1** キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ 2** スピーカーフォン ボタン  を押します。
-

関連トピック

[ヘッドセット, \(62 ページ\)](#)

ヘッドセットを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1** ヘッドセットを差し込みます。
- ステップ 2** キーパッドを使用して番号を入力します。
- ステップ 3** ヘッドセット ボタン  を押します。
-

リダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信することができます。

手順

-
- ステップ 1** (任意) 回線を選択します。
- ステップ 2** [リダイヤル (Redial)] を押します。
- ステップ 3** (任意) [発信 (Placed)] コール一覧から連絡先を選択し、[リダイヤル (Redial)] を押します。
-

スピードダイヤル

短縮ダイヤルは、ボタンを押すか、事前に設定したコードを入力するか、または電話機の画面項目を選択すると発信できます。短縮ダイヤルは、電話スクリーンまたは電話機の Web ページで設定できます。

短縮ダイヤルコードを編集、削除、検証できます。

関連トピック


[\[構成ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, \(4 ページ\)](#)

[短縮ダイヤル番号, \(5 ページ\)](#)

電話スクリーンからの短縮ダイヤルコードの割り当て

電話スクリーンで短縮ダイヤルを設定できます。また、電話機の [構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページから短縮ダイヤルコードを割り当てることもできます。

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [短縮ダイヤル (Speed Dial)] を選択します。
 - ステップ 3 割り当てられていない短縮ダイヤルインデックスまでスクロールします。
 - ステップ 4 [編集 (Edit)] を押します。
 - ステップ 5 短縮ダイヤルを割り当てる連絡先を検索するか、または入力します。
 - ステップ 6 [適用 (Apply)] を押します。
-

短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

はじめる前に

電話機の [構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページまたは電話機の [アプリケーション (Applications)] メニューで短縮ダイヤルコードを設定します。

手順

-
- ステップ 1 オンフック中にコールを発信するには、短縮ダイヤルコードを入力して [発信 (Call)] を押します。
 - ステップ 2 オフフック中にコールを発信するには、短縮ダイヤルコードを入力して [ダイヤル (Dial)] を押します。
-

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

-
- ステップ 1** アスタリスク (*) を 1 秒以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。トーンが停止して、* が + 記号に変わったことを示します。オフフックの場合に、トーンが聞こえます。
- ステップ 2** 番号をダイヤルします。
最後のキーを押してから 10 秒後に、電話機から番号が発信されます。
-

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが電話機に表示されているときは、通話が保護されています。電話機の設定によっては、電話をかける前にサインインする必要性が生じたり、ハンドセットからセキュリティ トーンが聞こえたりすることがあります。

コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作でコールに応答できます。

コールへの応答

手順

赤色に点滅しているセッション ボタンを押します。電話機に複数の回線がある場合、赤色に点滅しているボタンを最初に押します。

コール ウェイティングへの応答

アクティブ コール中にコール ウェイティングが発生すると、ビープ音が 1 回聞こえ、セッション ボタンが赤色に点滅します。

手順

-
- ステップ 1** セッション ボタンを押します。
- ステップ 2** (任意) 複数のコール ウェイティングが発生した場合は、着信コールを選択します。
-

コールの拒否

アクティブコールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステムや設定済み電話番号に送信できます。また、呼び出し中の着信コールをサイレントにすることもできます。

手順

次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- 着信コールを強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。
- 着信コールを強調表示して、[無視 (Ignore)] を押します。
- [音量 (Volume)] を下に一度押すと、呼び出し中の着信コールがサイレントになり、着信コールはボイスメールまたは設定済み電話番号に転送されます。

サイレントをオンにする

特定の作業に集中したいときにサイレント (DND) 機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DNDを有効にすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。

DNDを有効にすると、その電話機のすべての回線が対象となります。ただし、DNDがオンになっていてもインターコム コールと緊急通話は常に受信します。

手順

-
- ステップ 1** [サイレント (Do not disturb)] を押すと、DND がオンになります。
- ステップ 2** 再び [サイレント (Do not disturb)] を押すと、DND がオフになります。
-

同僚の電話機への応答（コール ピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールグループにこのユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールへの応答（ピックアップ）

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答することができます。ピックアップ対象のコールが複数存在する場合は、呼出音が最も長く鳴っているコールに応答します。

手順

-
- ステップ1 （任意） 回線ボタンを押す。
 - ステップ2 自分のピックアップグループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)] を押します。
 - ステップ3 （任意） コールが鳴ったら [応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
-

音声のミュート

手順


-
- ステップ1 ミュート ボタン  を押します。
 - ステップ2 再度ミュートを押すと、ミュートはオフになります。
-

コールの保留

アクティブ コールを保留にし、その後再開可能になってから保留中のコールを再開できます。ビデオ コールを保留にすると、コールを再開するまではビデオ転送がブロックされます。

コールを保留にする

手順

- ステップ1 保留ボタン  を押します。
- ステップ2 保留中のコールを再開するには、もう一度保留を押します。

長時間にわたって保留されているコールへの応答

コールが保留状態のままになると、通知を受け取ることがあります。この通知は着信コールの通知に似ており、次の合図が出されます。

- 赤色に点滅するセッション ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上の視覚的な通知

手順

赤色に点滅しているセッションボタンまたは[保留解除 (Resume)] を押して、保留中のコールを復帰します。

アクティブコールと保留コールの切り替え

手順

保留コールのセッションボタンを押すと保留コールが再開され、もう1つのコールが自動的に保留になります。

コールパーク

電話機を使用して、コールをパーク (一時保存) することができます。その後、別の電話機 (同僚のデスクや会議室にある電話機など) からそのコールを取得できます。

コールがパーク状態にある時間が長すぎる場合、アラート トーンが聞こえます。この電話機でコールに応答するか、別の電話機から取得することができます。所定の時間内にコールに応答しない場合、システム管理者が設定した別の接続先 (ボイスメールなど) にコールがルーティングされます。

コールパークを使用したコールの保留

電話機で応答したアクティブ コールをパーク保留した後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

コールパーク番号にパーク保留できるコールの数は1つだけです。

はじめる前に

コールがアクティブでなければなりません。

手順

-
- ステップ 1** [パーク保留 (Park)]を押します。
電話機から、システムがコールをパーク保留した番号の入力を求める録音が再生されます。
 - ステップ 2** 番号を入力し、#キーを押します。
番号を入力せずに#キーを押すと、ユーザの番号でコールがパーク保留されます。
 - ステップ 3** (任意) パーク保留中の番号を、コールに応答すべき担当者に伝達します。
-

コールパークを使用した保留中コールの取得

ネットワークの任意の場所から、パーク保留中のコールをピックアップできます。

はじめる前に

コールのパークに使われた番号を知っておく必要があります。

手順


-
- ステップ 1** [パーク解除 (Unpark)]を押します。
 - ステップ 2** コールがパーク保留中の番号とその後に#を入力します。
あるいは、#を入力してパーク保留中のコールを取得することもできます。
-

コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

コールが転送されることを確認するには、回線ラベルで [不在転送 (Forward all)] アイコン  を探します。

手順

-
- ステップ 1** すべてのコールの転送元となるアイドル状態の回線で、[不在転送 (Forward all)] を押します。
- ステップ 2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。
-

関連トピック

- [\[構成ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, \(4 ページ\)](#)
- [特定の状況でのコール転送, \(52 ページ\)](#)


コールの転送

アクティブ コールを別の人に転送することができます。

別の担当者へのコール転送

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、他の担当者と個別に話をする機会ができます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答するのを待たずにコールを転送します。

手順

-
- ステップ 1** 保留中ではないコールで、転送  を押します。
- ステップ 2** 別の担当者の電話番号を入力します。
- ステップ 3** (任意) 別の担当者がコールに応答するのを待ちます。
- ステップ 4** 再度、[転送 (Transfer)] を押します。
-


転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。

はじめる前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

手順



-
- ステップ 1 転送  を押します。
 - ステップ 2 転送先の相手の電話番号を入力します。
 - ステップ 3 別の担当者がコールに応答するのを待ちます。
 - ステップ 4 転送を押して転送を実行します。
-

電話会議とミーティング

1 回のコールで複数の相手と会話することができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線がある場合は、2 本の回線にまたがる 2 つのコールを結合できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

コールへの別のユーザの追加

手順

-
- ステップ 1 アクティブ コールから、会議  を押します。
 - ステップ 2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
 - ステップ 3 会議ボタン  を押します。
会議が開始されます。
-

複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

最も古いコールから先に応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線とは無関係に最も古いコールに応答するには、[応答 (Answer)] を押します。

電話機ですべてのコールを表示

(すべての電話回線からの) すべてのアクティブ コールのリストを、古いものから順番に表示できます。

このリストにはすべてのコールが表示されるため、複数の回線がある場合や、他のユーザと回線を共有している場合に便利です。このリストには、すべてのコールが表示されます。

回線の共有

同じ電話番号を1人または複数の同僚と共有できます。たとえば、管理者のアシスタントは、管理者のためにコールの発信者名確認を担当することがあります。

電話番号を共有すると、他の通常の電話回線と同じようにその回線を使用できますが、共有回線に特有のいくつかの動作に注意してください。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 同僚がコールに応答した場合、手元の電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが赤色に点灯し、セッションボタンが赤色に点滅します。同僚の回線ボタンも赤色に点灯し、セッション ボタンが赤色に点滅します。

共有回線のコールに参加する

自分または同僚が、共有回線上のコールに参加できます。管理者がユーザの電話機のこの機能を有効にする必要があります。

手順

-
- ステップ 1 共有回線の回線ボタンを押します。
 - ステップ 2 [割込み (Barge)] または [サイレント割込み (BargeSilent)] を押します。
-

モバイル デバイスとデスクの電話機

モバイルデバイス（電話機またはタブレット）を所有している場合、モバイルデバイスとデスクの電話機を接続できます。この接続により、モバイルデバイスまたはデスク電話機のどちらでもコールを発信したり応答したりできるようになります。

Intelligent Proximity を使用した通話

Bluetoothを使用すると、モバイルデバイス（電話機またはタブレット）とデスクの電話機をペアリングできます。モバイルデバイスがペアリングされて接続された後、電話機には追加の電話回線が表示され、これはモバイル回線（携帯電話番号）を示しています。デスクの電話機からこのモバイル回線のコールを発信/受信することができます。このようにデスクの電話機でモバイル回線を使用できる機能を、Intelligent Proximity といいます。

モバイル デバイスとデスクの電話機のペアリング

モバイルデバイスをデスクの電話機とともに使用できるようにするには、その前に Bluetooth を使ってペアリングし、通信パスを確立する必要があります。モバイルデバイスをデスク電話機にペアリングした後、モバイルデバイスが範囲内に入ると電話機はそのデバイスに自動接続し、モバイルデバイスが範囲外に出るとそのデバイスから切断します。


Bluetoothヘッドセットとモバイルデバイスを同時に接続しているときは、モバイルデバイスからの音声に Bluetooth ヘッドセットを使用して応答することはできません。

モバイルデバイスと電話機が接続された後、モバイルの連絡先と通話履歴をデスクの電話機に保存することができます。

はじめる前に

モバイルデバイスを検出可能モードにします。検出可能モードに関する詳細については、モバイルデバイスのマニュアルを参照してください。

手順

-
- ステップ 1 デスクの電話機で、アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] > [Bluetooth デバイスを追加 (Add Bluetooth device)] を選択します。
 - ステップ 3 使用可能なデバイスのリストからペアリングするモバイル デバイスを選択します。
 - ステップ 4 モバイル デバイスでパスキーを確認します。
 - ステップ 5 デスクの電話機でパスキーを確認します。
 - ステップ 6 (任意) モバイル デバイスの連絡先と通話履歴をデスクの電話機で利用可能にするかどうかを選択します。
-

関連トピック


[Bluetooth と電話機, \(12 ページ\)](#)

[Cisco IP Phone 8800 シリーズ, \(1 ページ\)](#)

接続されたモバイル デバイスの切り替え

ご使用の Cisco IP Phone の圏内に 2 台以上のペアリングされたモバイル デバイスが存在する場合は、接続するモバイル デバイスを選択できます。


手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ 3 使用可能なデバイスのリストからモバイル デバイスを選択します。
-

モバイル デバイスの削除

モバイル デバイスを削除すると、Bluetooth を使って自動接続されなくなります。


手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ 3 使用可能なデバイスのリストにあるモバイル デバイスを選択します。
 - ステップ 4 [削除 (Delete)] を押します。
-

ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示

ペアリングされたモバイル デバイスは、ペアリング済みデバイス一覧に「Bluetooth」として表示されます。このアカウントはモバイル デバイスのペアリングを解除するまで維持されます。

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] を選択します。
-

携帯電話の Intelligent Proximity

携帯電話の連絡先および通話履歴をデスクの電話機と共有し、携帯電話とデスクの電話機の間でコールを移動できます。また、デスクの電話機でモバイルデバイスの電波強度と電池残量を表示することもできます。

モバイル コール着信の処理

はじめる前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

携帯電話でコールの着信音が鳴ったときに、デスクの電話機で次のいずれかの操作を行います。

- コールに応答するには [応答 (Answer)] を押します。
- コールを拒否してボイスメールに送るには、[拒否 (Decline)] を押します。
- 着信音を止めてコールを拒否するには、[無視 (Ignore)] を押します。

モバイル コールの発信

はじめる前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

-
- ステップ 1** デスクの電話機でモバイル回線を選択します。
 - ステップ 2** 電話番号を入力します。
 - ステップ 3** [コール (Call)] を押します。
-

デスクの電話機とモバイル デバイスの間でのコールの移動

デスクの電話機を使用して、アクティブコールをモバイルデバイスに移動したり、デスクの電話機に戻したりすることができます。

はじめる前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

デスクの電話機からモバイルデバイスに（または逆方向に）コールを移動するには、[音声を移動 (Move audio)] を押します。

モバイル デバイスの音量の調整


電話機とモバイルデバイスの音量コントロールは同期されます。同期はアクティブコールがある場合にのみ実行されます。

はじめる前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順


次のオプションのいずれかを実行します。

- デスクの電話機の音量  を押します。[+] を押して音量を上げるか、[-] を押して音量を下げます。
- モバイル デバイスの音量ボタンを押します。

デスクの電話機でのモバイル連絡先の表示

携帯電話をペアリングして、モバイル連絡先を共有するオプションを選択した場合、デスクの電話機で携帯電話の連絡先リストを表示することができます。

手順

-
- ステップ 1** デスクの電話機で、連絡先  を押します。
- ステップ 2** 一覧から携帯電話を選択します。
-


デスクの電話機へのモバイル デバイスの連絡先の保存

モバイルデバイスの連絡先リストをデスクの電話機に保存できます。このモバイル連絡先リストは、モバイルデバイスとの接続を切断またはペアリングを解除した場合でも、デスクの電話機に維持されます。

はじめる前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 自分の携帯電話を選択します。
 - ステップ 3 [保存 (Save)] にチェックマークを付けます。
-


モバイル デバイス連絡先リストでの連絡先の削除

電話機に保存されているモバイル連絡先リストを削除できます。

はじめる前に

携帯電話をデスクの電話機にペアリングします。

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 自分の携帯電話を選択します。
 - ステップ 3 [削除 (Delete)] にチェックマークを付けます。
-

デスクの電話機でのモバイル通話履歴の表示

携帯電話をペアリングして、通話履歴を共有するオプションを選択した場合、デスクの電話機で携帯電話の通話履歴を表示できます。

手順

デスクの電話機で、[発信 (New Call)] を押します。

タブレットの Intelligent Proximity

タブレットを使用している場合、Bluetooth を使用してタブレットをデスクの電話機にペアリングできます。ペアリング後に、タブレットの電話アプリの音声をデスクの電話機で再生することができます。タブレットで使用できるコール機能の数は、携帯電話で使用できるコール機能ほど多くはありません。

デスクの電話機は Android および iOS タブレットからの接続をサポートしています。

タブレットからデスクの電話機への音声の移動

はじめる前に

タブレットがデスクの電話機にペアリングされ、タブレットにコールが着信します。

手順

-
- ステップ 1** タブレットで、Bluetooth を使用するようオーディオパスを設定します。
- ステップ 2** ヘッドセット、ハンドセット、またはスピーカーフォンを使用して、電話機で音声を聞きます。
-

デスクの電話機からタブレットへの音声の移動

はじめる前に

タブレットがデスクの電話機にペアリングされ、タブレットで通話中に音声デスクの電話機から聞こえます。

手順

次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- 受話器を置きます。
- [リリース (Release)] を押します。
- デスクの電話機で別のコールに応答します。



第 3 章

連絡先（Contacts）

- [社内ディレクトリ](#), 35 ページ
- [パーソナルディレクトリ](#), 39 ページ


社内ディレクトリ

自分の電話機で同僚の番号を調べることで、簡単に同僚に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

電話機では 3 種類の社内ディレクトリ（Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリ、BroadSoft ディレクトリ、および Cisco XML ディレクトリ）がサポートされています。

社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します
 - ステップ 3 検索条件を選択します。
 - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ 5 連絡先を選択します。
 - ステップ 6 [ダイヤル (Dial)] を押します。
-

BroadSoft ディレクトリ


BroadSoft ディレクトリでは個人連絡先、グループ連絡先、企業連絡先を検索および表示でき、これらの連絡先へ容易に発信できます。管理者がユーザの電話機で BroadSoft ディレクトリを設定します。このアプリケーション機能は BroadSoft の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

BroadSoft ディレクトリ内での連絡先の検索 (単純検索)

はじめる前に

- 管理者がユーザの電話機で BroadSoft ディレクトリを有効にします。
- ユーザまたはユーザの管理者が、BroadSoft ディレクトリのユーザグループタイプを [企業 (Enterprise)]、[グループ (Group)]、または [個人 (Personal)] のいずれかに設定します。

手順


- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
BroadSoft ディレクトリに対して設定したディレクトリ名が確認できます。
 - ステップ 3 [単純検索 (Simple Search)] を選択します。
 - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
-

BroadSoft ディレクトリ内での連絡先の検索 (高度な検索)

はじめる前に

BroadSoft ディレクトリのユーザグループタイプを [企業 (Enterprise)] または [グループ (Group)] のいずれかに設定します。

手順


- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2 [BroadSoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
- ステップ 3 [高度な検索 (Advance Search)] を選択します。
- ステップ 4 検索条件を選択します。

BroadSoft ディレクトリで連絡先を検索するには、姓、名前、ユーザID、番号、内線番号、部門、電子メールを使用できます。

- ステップ5 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
-


BroadSoft ディレクトリでの連絡先タイプの編集

手順

- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
- ステップ3 [設定 (Configuration)] を選択します。
- ステップ4 [タイプ (Type)] を選択します。
- ステップ5 [編集 (Edit)] を押して連絡先タイプを変更します。
BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプとして、[企業 (Enterprise)]、[グループ (Group)] または [個人 (Personal)] を選択できます。
- ステップ6 [保存 (Save)] を押して変更を適用します。
-


BroadSoft ディレクトリ名の編集

手順

- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
- ステップ3 [設定 (Configuration)] を選択します。
- ステップ4 [ディレクトリ名 (Directory Name)] を選択します。
- ステップ5 [編集 (Edit)] を押してエントリを変更します。
- ステップ6 [保存 (Save)] を押して変更を適用します。
-


BroadSoft ディレクトリのサーバ名の編集

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
 - ステップ 3 [設定 (Configuration)] を選択します。
 - ステップ 4 [ホスト サーバ (Host Server)] を選択します。
 - ステップ 5 [編集 (Edit)] を押してサーバエントリを変更します。
 - ステップ 6 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存します。
-


BroadSoft ディレクトリのユーザ ID の編集

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
 - ステップ 3 [設定 (Configuration)] を選択します。
 - ステップ 4 [ユーザ ID (UserID)] を選択します。
 - ステップ 5 [編集 (Edit)] を押して BroadSoft ディレクトリのユーザ ID を変更します。
 - ステップ 6 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存します。
-

BroadSoft ディレクトリのパスワードの編集

手順


- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
 - ステップ 3 [設定 (Configuration)] を選択します。
 - ステップ 4 [パスワード (Password)] を選択します。
 - ステップ 5 [編集 (Edit)] を押してエントリを変更します。
 - ステップ 6 [適用 (Apply)] を押して変更内容を保存します。
-

LDAP ディレクトリ

Cisco IP Phone は Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) v3 をサポートしています。指定された LDAP ディレクトリ内で、名前または電話番号、あるいはこの両方を検索できます。LDAP ベースのディレクトリ (Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなど) がサポートされています。

LDAP ディレクトリ内での連絡先の検索


手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2 [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] を選択します。
- ステップ 3 検索条件を入力します。
検索では連絡先の名と姓を使用できます。
- ステップ 4 [ソウシン (Submit)] を押します。

パーソナル ディレクトリ


パーソナル ディレクトリへの新しい連絡先の追加

手順

- ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] を選択します
- ステップ 3 [追加 (Add)] を押します。または [選択 (Select)] ボタンを押すこともできます。
- ステップ 4 [新規パーソナルディレクトリ エントリ (New Personal Dir Entry)] を選択します。
- ステップ 5 名、姓、および番号を入力します。
- ステップ 6 [保存 (Save)] を押して、パーソナルディレクトリにエントリを追加します。


パーソナルディレクトリ内の連絡先の検索

手順

- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択します
 - ステップ3 [パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal Directory)] を選択します。
 - ステップ4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
-


パーソナルディレクトリ内の連絡先への発信

手順

- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ3 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
 - ステップ4 [ダイヤル (Dial)] を押します。
-


パーソナルディレクトリ内の連絡先の編集

手順

- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ3 変更するエントリを選択します。
 - ステップ4 [編集 (Edit)] を押します。
 - ステップ5 エントリの情報を変更します。
 - ステップ6 [保存 (Save)] を押して、電話番号を変更します。
-

パーソナルディレクトリからの連絡先の削除

手順

-
- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択します
 - ステップ3 [パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal Directory)] を選択します。
 - ステップ4 検索条件を選択し、[送信 (Submit)] を押します。
 - ステップ5 [削除 (Delete)] を押して、削除を確認します。
-



第 4 章

通話履歴

- [通話履歴リスト, 43 ページ](#)
- [通話履歴の表示, 43 ページ](#)
- [最近の着信コールに対する折り返し発信, 44 ページ](#)
- [通話履歴リストのクリア, 44 ページ](#)
- [通話レコードの削除, 44 ページ](#)


通話履歴リスト

履歴リストを使用すると、最近の 150 件の個別コールおよびコール グループを確認できます。

履歴リストに含まれるコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。


通話履歴の表示

手順

- ステップ 1 表示する回線を選択します。
 - ステップ 2 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 3 スクロールして [通話履歴 (Call History)] を選択します。
-


最近の着信コールに対する折り返し発信

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [通話履歴 (Call History)] を選択します
 - ステップ3 ダイヤルする通話レコードを選択します。
 - ステップ4 (任意) 通話レコードを編集するには [ダイヤルの編集 (EditDial)] を押します。
 - ステップ5 [コール (Call)] を押します。
-



通話履歴リストのクリア

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [通話履歴 (Call History)] を選択します
 - ステップ3 [クリア (Clear)] を押します。
 - ステップ4 [削除 (Delete)] を押します。
-

通話レコードの削除

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [通話履歴 (Call History)] を選択します
 - ステップ3 削除する個々の通話レコードまたはコール グループを強調表示します。
 - ステップ4 [削除 (Delete)] を押して、グループ内の個々の通話レコードまたはすべてのコールを削除します。
 - ステップ5 確認のため、再び [削除 (Delete)] を押します。
 - ステップ6 [戻る (Back)]  を押します。
-



第 5 章

[ボイスメール (Voicemail)]

- [ボイスメールアカウント, 47 ページ](#)
- [新着メッセージインジケータ, 47 ページ](#)
- [ボイスメールへのアクセス, 48 ページ](#)
- [音声ボイスメールへのアクセス, 48 ページ](#)

ボイスメール アカウント

電話機からボイスメッセージに直接アクセスすることができます。ボイスメールアカウントと電話機の設定は、管理者によって行われます。

ボイスメールシステムごとに違いがあるため、電話機からボイスメールにアクセスして使用方法をここで詳しく述べることはできません。ボイスメールシステムで使用できるコマンドについては、ボイスメールシステムのユーザ マニュアルを参照してください。

新着メッセージ インジケータ

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- ハンドセットのライト ストリップが赤色に点灯します。
- 不在着信とボイスメールメッセージの数が画面に表示されます。新しいメッセージの数が 99 を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。


また、電話回線を使用する際にハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンから断続トーンが聞こえることがあります。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

関連トピック

[\[構成ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, \(4 ページ\)](#)

ボイスメールへのアクセス

手順

-
- ステップ 1** メッセージ ボタン  を押します。
- ステップ 2** 音声プロンプトに従います。
-

音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもボイスメールを取得できる場合があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用するものの、ビジュアルガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

手順

-
- ステップ 1** スクリーン上で [音声 (Audio)] ソフトキーを押します。
- ステップ 2** 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。
-



第 6 章

アプリケーション


- [使用できるアプリケーション, 49 ページ](#)
- [アクティブアプリケーションの表示, 49 ページ](#)
- [アクティブアプリケーションへの切り替え, 50 ページ](#)
- [アクティブアプリケーションの終了, 50 ページ](#)

使用できるアプリケーション

デフォルトでは、シスコの電話機にこれらのアプリケーションは含まれていません。天気、株式情報、社内ニュース、行うべき作業のリストなどの情報やサービスを提供するアプリケーションが企業によって追加される場合があります。


アクティブアプリケーションの表示

手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します
 - ステップ 3 [終了 (Exit)] を押します。
-


アクティブアプリケーションへの切り替え

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します
 - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択して [切り替え (Switch to)] を押すと、選択したアプリケーションを開いて使用できます。
 - ステップ4 [終了 (Exit)] を押します。
-

アクティブアプリケーションの終了

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [実行中のアプリケーション (Running applications)] を選択します。
 - ステップ3 実行中のアプリケーションを1つ選択し、[閉じる (Close app)] を押してアプリケーションを閉じます。
 - ステップ4 [閉じる (Close)] を押します。
 - ステップ5 [終了 (Exit)] を押します。
-




第 7 章

設定

- [呼出音の変更, 52 ページ](#)
- [特定の状況でのコール転送, 52 ページ](#)
- [すべての回線でサイレントをオンにする, 53 ページ](#)
- [特定の回線に対するサイレントをオンにする, 53 ページ](#)
- [匿名コールのブロック, 54 ページ](#)
- [発信者 ID 表示のブロック, 54 ページ](#)
- [コールの保護, 54 ページ](#)
- [すべての回線でのコール転送の有効化, 55 ページ](#)
- [ボイスメールのセットアップ, 56 ページ](#)
- [時刻形式の変更, 56 ページ](#)
- [日付形式の変更, 56 ページ](#)
- [スクリーンセーバーモードの変更, 57 ページ](#)
- [壁紙の変更, 57 ページ](#)
- [スクリーンの明るさの調整, 58 ページ](#)
- [バックライト継続時間の調整, 58 ページ](#)
- [フォントサイズの変更, 59 ページ](#)
- [電話機の名前の変更, 59 ページ](#)
- [ヘッドセットフィードバックの調整, 59 ページ](#)



呼出音の変更

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Preferences)] > [呼出音 (Ringtone)] を選択します。
 - ステップ3 回線を選択します。
 - ステップ4 呼出音のリストをスクロールし、[再生] を押してサンプルを聞きます。
 - ステップ5 [設定] と [適用] を押すと選択した設定が保存されます。
-

特定の状況でのコール転送

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Preferences)] > [コール転送 (Call Forward)] を選択します。
 - ステップ3 プライマリ回線で、次のいずれかのパラメータを選択します。
 - [すべての着信をコール転送：番号 (CFWD All Number)] : すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
 - [話中の場合にコール転送：番号 (CFWD Busy Number)] : プライマリ回線がアクティブ状態の場合、すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
 - [応答されない場合にコール転送：番号 (CFWD No Ans Number)] : 応答されない着信コールを転送します。
 - [応答されない場合にコール転送：遅延 (CFWD No Ans Delay)] : 応答遅延時間を割り当てます。コール転送モードとして [応答されない場合にコール転送：遅延 (CFWD No Ans Delay)] を選択した場合、その時間を割り当てることができます。
 - ステップ4 [編集 (Edit)] を押して、コールの転送先となる電話番号を入力します。
 - ステップ5 [適用 (Apply)] を押して、コールの転送先となる電話番号を確認します。
 - ステップ6  を押して、回線1の画面に戻ります。
 - ステップ7 [終了 (Exit)] を押して [設定 (Preferences)] 画面に戻ります。
-


関連トピック

[コールの転送](#), (24 ページ)

すべての回線でサイレントをオンにする

特定の作業に集中したいときに、すべての回線のすべての着信コール通知を抑止できます。



手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [設定 (Preferences)]>[コールプリファレンス (Call Preference)]>[グローバルサイレントモード (DND Global Mode)]を選択します。
 - ステップ 3 [すべての回線 (All Lines)]を選択して、すべての回線にサイレント (DND) を設定します。
 - ステップ 4 [回線単位 (Per Line)]を選択して、選択されている回線にサイレント (DND) を設定します。
 - ステップ 5 [設定 (Set)]を押して、モードを適用します。
-

特定の回線に対するサイレントをオンにする

特定の作業に集中したいときにサイレント (DND) 機能を設定すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を抑止できます。すべての着信コール通知を抑止することも、特定の発信者の通知を抑止することもできます。



手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [設定 (Preferences)]>[コールプリファレンス (Call Preference)]>[サイレント (Do Not Disturb)]を選択します。
 - ステップ 3 リストから特定の回線を選択します。
 - ステップ 4 [オン (On)]を押してサイレント (DND) をオンにするか、[オフ (Off)]を押してオフにします。
 - ステップ 5  を押すと変更内容が保存され、[コールプリファレンス (Call Preferences)]画面に戻ります。
-

匿名コールのブロック

発信者情報がない着信コールをブロックできます。



手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Preferences)] > [コールプリファレンス (Call Preference)] > [匿名コールのブロック (Block Anonymous Call)] を選択します。
 - ステップ3 発信者情報のないコールをブロックするには [オン (On)] を選択し、許可するには [オフ (Off)] を選択します。
 - ステップ4  を押すと変更内容が保存され、[コールプリファレンス (Call Preferences)] 画面に戻ります。
-

発信者 ID 表示のブロック

発信者の名前と番号を非表示にできます。



手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [設定 (Preferences)] > [コールプリファレンス (Call Preference)] > [発信者 ID のブロック (Block Caller ID)] を選択します。
 - ステップ3 [オン (On)] を押して発信者 ID 表示をブロックするか、[オフ (Off)] を押して発信者 ID 表示を許可します。
 - ステップ4  を押すと変更内容が保存され、[コールプリファレンス (Call Preferences)] 画面に戻ります。
-

コールの保護

コールを盗聴から保護するために、コールを暗号化できます。すべての発信コールまたは特定のコールに対してコール保護機能を設定できます。


手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Preferences)]>[コールプリファレンス (Call Preference)]>[コールの保護 (Secure Call)] を選択します。
- ステップ 3** [オン (On)]を押してコール保護機能を有効にするか、[オフ (Off)]を押してコール保護機能を無効にします。
- ステップ 4**  を押すと変更内容が保存され、[コールプリファレンス (Call Preferences)]画面に戻ります。
-

すべての回線でのコール転送の有効化




すべての回線または1本の回線で、任意のコール転送値変更を設定できます。

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Preferences)]>[コールプリファレンス (Call Preference)]>[CFWD グローバル モード (CFWD Global Mode)]を選択します。
- ステップ 3** [すべての回線 (All Lines)]を選択します。
コール転送設定に適用する変更内容はすべて、その他のすべての回線に影響します。機能キーの同期が有効な回線には、変更内容は影響しません。
- ステップ 4** [回線単位 (Per Line)]を選択します。
コール転送設定に適用する変更内容はすべて、選択されている回線だけに影響し、それ以外の回線には影響しません。
- ステップ 5** [設定 (Set)]を押して、モードを適用します。
-


ボイスメールのセットアップ

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Preferences)] > [ボイスメール (Voice Mail)] を選択します。
- ステップ 3** [編集 (Edit)] を押します。
- ステップ 4** 電話番号を入力して、ボイスメールを確認します。
メッセージ  ボタンを押すと、ボイスメール番号がダイヤルされ、ボイスメッセージのリストが表示されます。
- ステップ 5** [適用 (Apply)] を押して割り当てられている番号を確認するか、または [復元 (Revert)] を押して変更前のボイスメール番号を復元します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] を押して変更内容を保存するか、[キャンセル (Cancel)] を押します。
- ステップ 7** 番号を適用せずに [ボイスメール (Voice Mail)] 画面に戻るには、 を押します。
-


時刻形式の変更

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Preferences)] > [時刻形式 (Time Format)] を選択します。
- ステップ 3** 日付形式を選択して [設定 (Set)] を押します。
-




日付形式の変更

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Preferences)] > [日付形式 (Date Format)] を選択します。
- ステップ 3** 日付形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更内容を適用します。
-

スクリーンセーバーモードの変更


手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定 (Preferences)] > [スクリーンセーバーモード (Screen Saver Mode)] を選択します。
- ステップ3 [スクリーンセーバーを有効にする (Enable Screen Saver)] を選択します。
- ステップ4 [オン (On)] を選択してスクリーンセーバーを有効にするか、[オフ (Off)] を押してスクリーンセーバーを無効にします。
- ステップ5 [スクリーンセーバーの待機時間 (Screen Saver Wait Time)] を選択します。
- ステップ6 [適用 (Apply)] を押します。
- ステップ7 [スクリーンセーバーアイコン (Screen Saver Icon)] を押します。
- ステップ8 必要なアイコンを選択します。
- ステップ9 [設定 (Set)] を押して、選択内容を確認します。
- ステップ10  を押して [スクリーンセーバーモード (Screen Saver Mode)] 画面に戻ります。
- ステップ11 [リフレッシュ間隔 (Refresh Period)] を選択します。
- ステップ12 [適用 (Apply)] を押します。
- ステップ13  を押して [設定 (Preferences)] 画面に戻ります。

壁紙の変更

電話機の壁紙を、選択可能ないずれかの壁紙に変更することができます。

手順


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定 (Preferences)] > [壁紙 (Wallpaper)] を選択します。
- ステップ3 壁紙オプションを選択して、次の任意の手順を実行します。
 - [プレビュー (Preview)] を押して、電話スクリーンの壁紙を確認します。
 - [設定 (Set)] を押して、壁紙を電話機に適用します。

- [削除 (Delete)] を押して、リストから壁紙を削除します。

ステップ 4 [終了 (Exit)] を押します。


スクリーンの明るさの調整

手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [設定 (Preferences)] > [明るさ (Brightness)] を選択します。
- ステップ 3 ナビゲーション クラスタを左に押すと暗くなり、右に押すと明るくなります。
- ステップ 4 [保存 (Save)] を押します。
-

バックライト継続時間の調整

手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [設定 (Preferences)] > [バックライト タイマー (Backlight Timer)] を選択します。
- ステップ 3 [編集 (Edit)] または [選択 (Select)] ボタンを押します。
- ステップ 4 リストをスクロールして、バックライトをオンにしておく時間を選択します。
- [1 分 (1 min)]
 - [5 分 (5 min)]
 - [30 分 (30 min)]
 - [常時オン (Always On)]
- (注) デフォルト値は 5 分です。
- ステップ 5 [設定 (Set)] を押して、選択内容を適用します。
-


フォントサイズの変更

異なるフォントサイズを使用するように電話機をセットアップできます。フォントサイズを大きくすると、メッセージが途中までしか表示されなくなる場合があります。

フォントサイズは次のラベルに影響します。

- コールスクリーン（発信者名と機能キー ラベル）
- 通話履歴の発信者名
- 電話スクリーンの回線ラベル


手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定 (Preferences)] > [フォントサイズ (Font Size)] を選択します。
- ステップ3 フォントサイズを選択して、[設定 (Set)] を押します。
- ステップ4 [終了 (Exit)] を押すと、[設定 (Preferences)] ウィンドウに戻ります。

電話機の名前の変更

電話機の名前をデフォルト名から変更できます。


手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定 (Preferences)] > [電話機の名前 (Phone Name)] を選択します。
- ステップ3 キーパッドを使用して名前を入力します。
- ステップ4 [適用 (Apply)] を押します。
- ステップ5 [終了 (Exit)] を押します。

ヘッドセット フィードバックの調整

ヘッドセットを使用するときには、自分の声がイヤホンから聞こえます。これをヘッドセット側音またはヘッドセットフィードバックといいます。電話機のヘッドセット側音の音量を制御することができます。

手順

- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [初期設定 (Preferences)] > [ヘッドセットの側音 (Headset sidetone)] の順に選択します。
- ステップ 3** 特定の設定を選択します。
- ステップ 4** [終了 (Exit)] を押します。
-



第 8 章

アクセサリ

- サポートされるアクセサリ, 61 ページ
- 電話機に関連付けられたアクセサリの表示, 62 ページ
- ヘッドセット, 62 ページ

サポートされるアクセサリ

シスコおよびサードパーティ製の次のアクセサリが電話機でサポートされます。


表 2: Cisco IP Phone 8800 シリーズのアクセサリ サポート

アクセサリ	タイプ (Type)	Cisco IP Phone			
		8811	8841	8851	8861
サードパーティ製アクセサリ					
ヘッドセット (Headset)	アナログ	X	X	X	X
	アナログ ワイドバンド	X	X	X	X
	Bluetooth	—	—	X	X
	USB	—	—	X	X
マイク	外部 PC	—	—	—	X
講演者	外部 PC	—	—	—	X

電話機に関連付けられたアクセサリの表示

ヘッドセットジャック、Bluetooth、またはUSBポートを使って外部ハードウェアを電話機に接続できます。アクセサリリストには、アナログヘッドセットがデフォルトで含まれています。このヘッドセットは、ワイドバンドを有効にするように設定できます。

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** 次のオプションのいずれかを選択します。
- アクセサリ
 - Bluetooth
- ステップ 3** (任意) アクセサリを選択して、[詳細の表示 (Show detail)] を押します。
- ステップ 4** [終了 (Exit)] を押します。
-

ヘッドセット

サポートされるヘッドセットの一覧については、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.htmlを参照してください。

アクティブ コール中にヘッドセットを電話機に差し込むと、オーディオパスが自動的にヘッドセットに切り替わります。

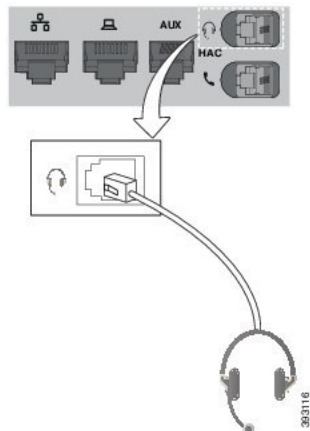
標準ヘッドセット

標準のヘッドセットは、RJ-11 コネクタを使用して電話機の背面に差し込みます。

標準ヘッドセットの接続

手順

電話機背面のジャックにヘッドセットを差し込み、ケーブルチャンネルの中にケーブルを押し込みます。





次の作業

標準のヘッドセットがワイドバンドオーディオに対応している場合は、[ワイドバンド標準ヘッドセットの設定](#)、(63 ページ) を実行する必要があります。

ワイドバンド標準ヘッドセットの設定

広帯域オーディオに対応するヘッドセットを使用できます。広帯域オーディオでは、ヘッドセットから聞こえる音声の質が向上します。

手順

-
- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2 [アクセサリ (Accessories)] > [アナログヘッドセット (Analog headset)] > [セットアップ (Setup)] を選択します。
 - ステップ 3 [オン (On)] または [オフ (Off)] を押してアナログヘッドセットのワイドバンドを有効または無効にします。
 - ステップ 4 戻る  を押します。
-

USB ヘッドセット

サポートされるヘッドセットの一覧については、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html を参照してください。一覧に含まれない USB ヘッドセットを USB ポートに接続しても正常に機能しない場合があります。詳細については、USB ヘッドセットの製造元が提供するマニュアルを参照してください。

USB ヘッドセットの接続

電話機で USB ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- 同時に使用できるヘッドセットは 1 台のみです。最後に接続されたヘッドセットがアクティブヘッドセットとなります。
- アクティブ コール中に USB ヘッドセットを取り外しても、オーディオパスは自動的に変更されません。スピーカーフォン ボタンを押すか、ハンドセットを持ち上げる必要があります。

USB ヘッドセットを差し込んだり、電話機の音量コントロールキーを使って音量を調整したりした場合には、電話機にメッセージが表示されます。

手順

USB ヘッドセットのプラグを電話機の USB ポートに差し込みます。

Bluetooth ヘッドセット

電話機で Bluetooth ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- Bluetooth ヘッドセットと標準ヘッドセットの両方が電話機に接続されている場合、動作するのは常に一方のタイプのヘッドセットだけです。一方のヘッドセットを有効にすると、他方は自動的に無効になります。
- USB ヘッドセットを使用する場合、Bluetooth およびアナログ ヘッドセットはどちらも無効になります。USB ヘッドセットを取り外した場合、Bluetooth ヘッドセットまたは標準ヘッドセットを有効にする必要があります。
- ヘッドセットの最適なカバレッジを確保するには、Bluetooth ヘッドセットを電話機から 3 m (10 フィート) 以内の範囲で使用してください。
- 電話機は、Bluetooth ハンズフリープロファイルをサポートしています。Bluetooth ヘッドセットでサポートされている場合、次の機能を Bluetooth ヘッドセットから実行できます。
 - コールへの応答
 - コールの終了
 - ヘッドセットのコールの音量を変更する
 - リダイヤル
 - 発信者 ID
 - 却下
 - 転送
 - 保留と応答


- リリースして許可

詳細については、Bluetooth ヘッドセットの製造元から提供されたマニュアルを参照してください。


関連トピック

- [Bluetooth と電話機, \(12 ページ\)](#)
- [Cisco IP Phone 8800 シリーズ, \(1 ページ\)](#)
- [ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示, \(29 ページ\)](#)

Bluetooth をオンまたはオフにする

Bluetooth がアクティブの場合、Bluetooth アイコン  が電話スクリーンのヘッダーに表示されません。

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
 - ステップ 2** [Bluetooth] を選択します。
 - ステップ 3** [オン (On)] または [オフ (Off)] を押します。
-


Bluetooth ヘッドセットの追加

手順

-
- ステップ 1** Bluetooth ヘッドセットを検出可能にします。
 - ステップ 2** アプリケーション  を押します。
 - ステップ 3** [Bluetooth] > [Bluetooth アクセサリの追加 (Add Bluetooth accessory)] を選択します。
電話機が、検出可能なサポート対象アクセサリを検索します。検出されたアクセサリは、[Bluetooth アクセサリの追加中 (Adding Bluetooth Accessory)] 画面のリストに追加されます。
 - ステップ 4** ヘッドセットを選択し、[接続 (Connect)] を押します。
電話機では、Bluetooth デバイスの PIN 「0000」 を使用して、アクセサリへの接続を自動的に試行します。異なる PIN がアクセサリで必要とされる場合は、[PIN の追加 (Adding PIN)] 画面が表示されます。
 - ステップ 5** (任意) 必要に応じて、アクセサリの PIN を入力してください。
-


Bluetooth ヘッドセットの切断

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 Bluetooth ヘッドセットを選択します。
 - ステップ3 [切断 (Disconnect)] を押します。
-

Bluetooth ヘッドセットの削除

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 Bluetooth ヘッドセットを選択して、[削除 (Delete)] を押します。
-



第 9 章

製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスに関する情報, 67 ページ](#)
- [FCC 準拠宣言, 69 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要, 69 ページ](#)
- [重要なオンライン情報, 70 ページ](#)

安全性とパフォーマンスに関する情報

停電

電話機を經由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コール サービス ダイヤルを利用する必要があります。

外部デバイス

不要な無線周波数（RF）信号および可聴周波数（AF）信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれません。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。

- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive (89/336/EC) に完全に準拠した外部スピーカー、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

Bluetooth 無線ヘッドセットのパフォーマンス

ヘッドセットが Bluetooth に対応している場合、Cisco IP Phone は Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。Bluetooth では、30 フィート (10 m) 以内の範囲の低帯域幅でワイヤレス接続を行えます。最大のパフォーマンスが得られるのは、1 ~ 2 m (3 ~ 6 フィート) の範囲内です。ヘッドセットは 5 個まで接続できますが、最後に接続されたヘッドセットだけがデフォルトとして使用されます。

干渉の問題が発生する可能性があるため、802.11b/g デバイス、Bluetooth デバイス、電子レンジ、金属製の大きな物体は、ワイヤレスヘッドセットから遠ざけておくことをお勧めします。

Bluetooth ワイヤレスヘッドセットを、電話機から直接見える場所で使用する必要はありません。ただし、壁やドアなどの障害物や、他の電子機器からの干渉により、接続が影響を受けることがあります。

電話機への電力供給方法

次の 2 通りの方法のいずれかで電話機に電力を供給できます。

- 電話機に付属の電源ケーブルを使用します。
- ネットワークが Power over Ethernet (PoE) に対応している場合は、電話機をネットワークに接続できます。イーサネットケーブルを電話機の PoE スロットとネットワークに接続します。

ネットワークが PoE に対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

ネットワーク輻輳時の電話の動作

ネットワーク パフォーマンスを低下させるすべての要因によって Cisco IP Phone の音声とビデオの品質が影響を受ける可能性があり、場合によっては通話が切断されることもあります。ネットワーク速度低下の原因として、たとえば次のようなアクティビティがあります。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- ネットワークで発生する DoS 攻撃などの攻撃

FCC 準拠宣言

連邦通信委員会（FCC）は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

FCC Part 15.21 に関する宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作指示に従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に際しては、米国および他国の法律が適用されます。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<http://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

重要なオンライン情報

エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。 <http://www.cisco.com/go/eula>

『Regulatory Compliance and Safety Information』

Regulatory Compliance and Safety Information（RCSI）は次の場所にあります。 http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/regulatory_compliance/english/install/guide/iphrcsi3.html